○議長（茅沼隆文）

本一括議題につきましては、議事の都合上、分割して討論・採決を行います。

まず、議案第19号 平成29年度開成町一般会計予算について、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

4番、前田せつよ議員。

○4番（前田せつよ）

議員番号4番、前田せつよでございます。

議案19号・平成30年度一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

我が国・政府は、新たな観光振興や地方創生の実現をめざすとした中で、平成30年度の施策は「人づくり革命」や「生産革命」を優先課題とし、特に、教育を重視する「人への投資」を重点に置き、教育費負担の軽減や子育て支援を大きく前進させ、また、農業や中小企業などを後押しする「収入保険制度」や交付金の創設で経営安定化を図るとしています。

開成町では、このような社会情勢の中で、来年度は、子育て支援・教育環境のさらなる充実と北部地域活性化の推進をおもな柱とし、新庁舎の建設は、準備工事であるプール解体工事が引き続き行われ、いよいよ本格的な建設工事に入ります。

そこで、第五次開成町総合計画前期基本計画の最終年度となる平成30年度は、「未来へ続く懸け橋予算」とし、初めての試みとなる、枠配分方式を取り入れた予算編成がなされました。

一般会計予算の総額は、60億5,800万円で、前年度に比べプラス17.4%、8億9,800万円の増となりました。

なお、国民健康保険特別会計を眺めてみますと、前年度に比べ、1億2,646万4,000円の減、これは国民健康保険制度改革により、町が県とともに国民健康保険の運営を担い、県が財政運営の責任主体となり、減少したものでした。このことを踏まえ、町は一層の財政運営の安定化を図るとしています。

主な事業内容として、子育て支援については、小児医療費助成の拡大が図られ、通院費の無料対象が中学3年生までになることとしました。また、新たな病児・病後児保育事業に、足柄上郡5町の広域的な取り組みとして、社会福祉法人に「病児保育事業」を委託することは高く評価するものの、今後も充実した事業展開に向けて検討されることを注視してまいります。また、北部地域活性化の推進としては、農業経営の視点を都市農業の魅力を発揮することと捉え、仕組みづくりを進めるとしています。さらに、あしがり郷「瀬戸屋敷」は北部地域の拠点施設であると同時に、町の観光や地域の活力の創出をする場とし施設整備が図られる予算としています。

新庁舎建設は、公共施設としては日本で初めてのZEB、ゼロ・エネルギー・ビルとし、国の補助制度を活用した中で、平成31年度中の竣工をめざしています。あわせて来庁者や町民に対してのサービスの向上を目的に、町職員の全員を対象とした接遇研修は、傾聴を重要視し実施するとしていますが、庁舎内外に多大な効果があり、すべてに良い影響をもたらす重要な事柄と考えます。

平成30年度の町政運営並びに当初予算案は、開成町第五次基本計画の前期計画に掲げた施策を推し進め、これまでの取り組みを総点検しながら、浮き上がる課題については、原因の究明をし、改善を図り、後期基本計画につなげていくという姿勢があらわれたものと感じました。

よって、平成30年度も、未来に向かって、意欲と向上心をもって、充実した事業展開がされることを期待いたしまして、賛成討論といたします。